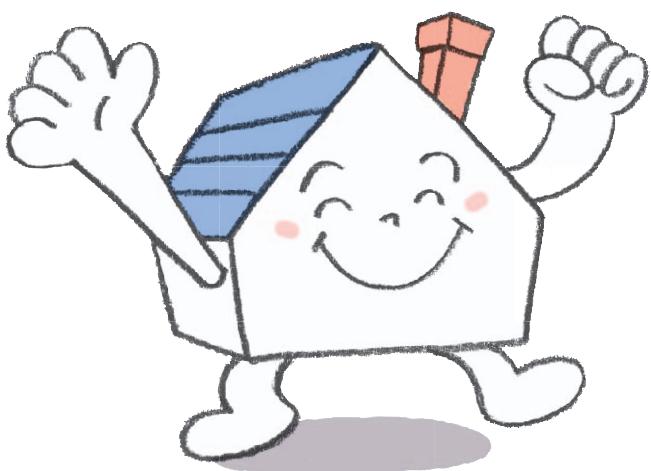


ステルスSCの疑問を解決!

Q&A



シロアリからマイホームをまもる防除剤

スティルス SC

土壤処理剤

Professional Pest Control
All You Need.

BASF

The Chemical Company

ステルスとは？



Q “ステルス”的名前の由来は？

A “ステルス”には、“知られずに行う”という意味があります。
薬剤に忌避性がなく、シロアリに察知されずに効果を発揮するところから名付けられています。

Q ステルスSCの有効成分は？

A 一般名はクロルフェナピルといいます。
ピロール系化合物に属し、有機リン系やカーバメート系、ピレスロイド系ではありません。

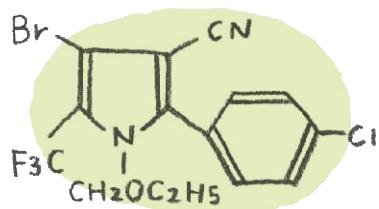
Q ステルスSCの製剤は？

A “SC”はSuspension Concentrateの略で、水中懸濁剤、FL(フロアブル)とも呼ばれています。
有効成分と水が殆どですので、毒性、刺激性、引火性、薬害、臭気等の問題が殆どありません。

有効成分について

Q 酸・アルカリに対する安定性は？

A pH4(酸性)及びpH9(アルカリ性)の緩衝液中では、
25°C・28日間で殆ど分解が認められませんでした。
また、弱酸性から弱アルカリ性土壤では、極めて安定です。



Q 熱安定性は？

A 安定です。

Q 光安定性は？

A やや不安定ですが、床下では光は当たりませんので、実質上問題ないと考えられます。

Q 水溶解度は？

A 0.12ppm(25°C)で、水に殆ど溶けません。

Q 土壤吸着は？

A 土壤吸着は強いので、散布域からの流脱は殆どないと推定されています。

Q 蒸気圧は？

A 4.1×10^{-8} mmHg(20°C)と大変低く、揮散は殆ど無いものと思われます。

Q 作用性は？

A クロルフェナピルはシロアリ体内で代謝活性化され、細胞内のミトコンドリアにおけるエネルギー生成を阻害します。そのため、シロアリは徐々に活動できなくなり、死亡します。神経系に作用する薬剤とは異なり、ノックダウンはしません。

Q その他の生物への活性は？

A 植物、動物などの細胞にはミトコンドリアが存在しますが、吸収移行、代謝活性化及び解毒化の経路は生物種によって異なる為、全てに作用するわけではありません。
また、植物体内には殆ど吸収されません。哺乳類では吸収されても速やかに代謝・排泄されるので、大量に暴露されない限り毒性上の影響は殆どないと考えられています。
昆虫等に対しては特に活性が高い化合物です。



効力について

Q どの程度の濃度まで効果がある？

A 室内試験では、混和処理土壌中の濃度10ppm程度まで充分な殺虫効果が認められています。

Q 残効性は？

A 近畿大学及び琉球大学の野外試験では、5年以上の残効性が認められていますが、シロアリの生息密度や環境条件によって異なるので、5年を目処に再施工を推奨いたします。

安全性について

Q 製剤の哺乳類に対する毒性は？

A 急性経口(ラット):LD₅₀(mg/kg):♂560、♀567
急性経皮(ウサギ):LD₅₀(mg/kg):♂♀>2,000
急性吸入(ラット):LC₅₀(mg/l):♀>2.43

Q 毒性上の分類は？

A 製剤は劇物ですが、希釈液は普通物相当です。

Q 刺激性は？

A 製剤は、ウサギに対し、眼及び皮膚に対する僅かな刺激性がありますが、通常の使用方法では殆ど問題はないものと考えられています。



Q 感作性は？

A モルモットに対する皮膚感作性は陰性です。

Q 発癌性、催奇形性は？

A 有効成分のクロルフェナピルには、いずれも認められていません。

Q 作業者に対する安全性は？

A 実散布時の暴露量を測定したところ、影響が無いと推定される量でした。白対協の安全指針等に従って、通常の保護具を使用して作業すれば、問題はないものと考えられます。

Q 居住者に対する影響は？

A 有効成分の蒸気圧は低く、製剤には有機溶剤が殆ど含まれて居ないので、空気中への揮散は殆ど考えられません。

Q シックハウス対策は？

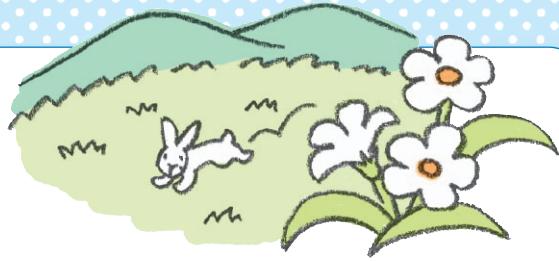
A 改訂建築基準法で規制されているホルマリン等は含まれていません。

環境に対する 影響について

Q 魚毒性は？

- A 原体:コイ:LC₅₀(ppm):0.11(48hrs)
ミジンコ:LC₅₀(ppm):0.67(3hrs)

魚介類に対して強い影響を及ぼすので、水系へ流出しないように充分注意を払って下さい。



Q 散布域からの流脱の心配は？

- A クロルフェナビルは水溶解度が低く、さらに土壤吸着性が高いため、散布後の流脱の懸念は殆どありません。

Q 野生生物への影響は？

- A 農業用殺虫剤として長期間使用されていますが、野生生物に悪影響が認められたとの知見はありません。

使用法について

Q 希釀倍率は？

- A 水で200倍に希釀して使用します。

Q 使用量は？

- A 白対協の標準仕様書に準じて使用して下さい。
面状処理:3ℓ/m²
帯状処理:20cm幅で1ℓ/m



Q 希釀液を畳や絨毯にこぼした場合は？

- A 洗剤等でよく洗浄し、拭き取って下さい。

Q 希釀液が壁や木質部についての影響は？

- A シミになることは殆ど無いものと思われます。
ただ、金属表面では、乾燥後白っぽくなることがあります、
容易に拭き取れます。鉄は錆びる可能性があります。

Q コンクリートで覆われた床下に散布しても効果はある？

- A ステルスSCの希釀液をコンクリート表面に処理し、
室温で2年、40℃で9ヶ月経過後も優れた効果を示しました。